

いきいき茨城ゆめ国体バドミントン競技会場設営・撤収等業務委託に係る 特記仕様書

仮設物等の仕様及び数量については、「諸室指示及び備品内訳書」に記載のとおりとし、主な仕様の詳細は以下のとおりとする。

仮設テント

仮設物	仕 様
パイプテント	① サイズ及び色は「諸室指示及び備品内訳書」の通りとする。 ② テント幕のサイズ及び色は「諸室指示及び備品内訳書」の通りとする。 ③ 四方幕は自力で巻き上げられる状態にしておくこと。 ④ ウェイトにて養生し、雨風対策を確実に行うこと。 ⑤ テントに連結部分がある場合、連結部分からテント内に雨風が入らないよう対策を行うこと。

・テントの設置にあたっては、以下の点に注意し、所定の場所に必要数を搬入設置すること。

- ① テント布、横幕はカビ等の汚れの無いものを使用すること。
- ② 会場の状況に応じた物品を使用し、雨風対策には万全を期すこと。
- ③ 支柱は錆、変形等の無いきれいな物を使用すること。また、強風によりテントの骨が折れないものとする。
- ④ 四方に横幕を付け、容易に開閉できる状態にしておくこと。
- ⑤ 複数のテントを併設する場合は雨樋等を設け、雨水が地面にスムーズに流下するよう設置すること。なお、その際に排水先の処理を十分に考慮すること。
- ⑥ 倒飛壊が生じないように適宜設置の状況を確認し、設置の不備等を発見した場合は直ちに補修するとともに、その結果を発注者に報告すること。

デジタル無線機

仮設物	仕 様
デジタル無線機	① デジタル・30チャンネル以上、台数は積算内訳を参照すること。 ② 出力5W ③ 会場でのセッティング含む ④ 急速充電器・ベルトクリップ・イヤホンマイク付

・デジタル無線機は以下の点に注意し、所定の場所に必要数を搬入設置すること。

- ① 指定する個所において、事前に発注者の立会いのもと通話テストを行うこと。
- ② 機器の使用に際して必要となる免許は、受注者が事前に申請し、取得すること。
- ③ 電波使用料は、受託金額に含めること。
- ④ 充電済の状態引き渡すこと。

OA機器

仮設物	仕様
パソコン	① ノートパソコン型 Windows10 Professional 15.4インチ メモリ 4GB 以上 HDD100GB 以上 ② 付属品 DVD-R/RWドライブ FDドライブマウス マウスパッドテンキー ③ Microsoft Office2010 (ワード・エクセル), Explorer9 AdobeReader Xをインストールしておくこと。 ④ ウィルス対策ソフトをインストールしておくこと。 ⑤ 全パソコンからプリンターが使える状態にしておくこと。
複合機	① コピー, プリンター, ファックス複合機(カラー) 設置工事及び設定含む。 ② A3用紙まで印刷及びファックス送信可能なものとする。 ③ 処理速度 A4 30枚/分以上のものとする。 ④ 用紙トレイ 3段以上のものとする。 ⑤ ADF付のものとする。
LAN 設定	LAN 配線及び設定, PRT ドライバーのインストールをしておくこと。
インターネット接続	モバイル通信カードは現地確認を行い, 通信可能な回線業者・機器を選択すること。

- ・OA 機器の設置にあたっては, 以下の点に注意し, 所定の場所に必要数を搬入設置すること。
- ① 各指示書の機能を満たす機種及び台数とし, 規格や設置場所については発注者と協議すること。
- ② 各機器を搬入設置後, 発注者の立会いのもと動作状況の確認及び調整を行うこと。
- ③ インターネット回線の敷設等 (プロバイダー契約, 敷設工事) を行い, 使用料については受託料に含むものとする。
- ④ ウィルス対策等セキュリティに万全を期すこと。
- ⑤ LAN 設定については各諸室内の機器が共有できるよう設定し, パソコン側へドライバーインストールも含むものとする。
- ⑥ 各工事日程の詳細は発注者と協議のうえ, 決定するものとする。
- ⑦ OA 技術員を会場に常駐すること。

電気工事

仮設物	仕様
発電機	① 極低騒音 ② 分電盤及び漏電ブレーカー, 二次側にトランスを設けること。 ③ 配線箇所にはケーブルプロテクターを施すこと。 ④ 電気を要する各箇所への配線料を含む。 ⑤ 大会期間中の使用に支障が無いように燃料の補給等の管理を含む。

- ・発電機の設置にあたっては, 以下の点に注意し, 所定の場所に必要数を搬入設置すること。
- ① 「諸室指示及び備品内訳書」の電気製品に十分対応できる安定した電圧及び容量とし, 規格や設置場所については, 発注者と協議のうえ決定すること。
- ② 分電盤・漏電ブレーカー・トランスを設置し安定した電源供給を行うこと。また, 予備の機材を常備すること。
- ③ 設置にあたっては, 周囲をフェンスで囲うなど関係者以外が容易に立ち入れないようにするとともに, 危険を喚起する看板を掲げること。
- ④ 極低騒音型とし, 周辺へ影響を及ぼさないよう対策を施すこと。

ウォッシュャブルトイレ

仮設物	仕 様
ウォッシュャブルトイレ	<p>① 型式は以下のものと同等品以上とする。 女子トイレ：WT - 14 型シャトレ式 男子トイレ：WT - 10 型シャトレ式</p> <p>② ウォッシュャブルハウストイレとし、ユニット内部の構成は以下のとおりとする。 女子トイレ：洋式トイレ×5室×2棟 男子トイレ：洋式トイレ×2室，小専用トイレ×4基</p> <p>③ 圧縮ポンプ式の仕様で設置する。</p> <p>④ 汚水用：中間ポンプ槽・溜め置きタンク 給水用：貯水タンク・加圧ポンプセット</p>

・ウォッシュャブルトイレの設置にあたっては、以下の点に注意し、所定の場所に必要数を搬入設置すること。

- ① 指定する個所において、事前に発注者の立会いのもと位置関係を確認して設置すること。
- ② 照明・加圧ポンプなどの電源は、仮設発電機を使用すること。
- ③ 汚水タンク等が見えないよう目隠しフェンスをすること。
- ④ 汚水タンクに溜まった汚水は、毎日汲み取りを行うこと。
- ⑤ 洋式トイレは、温水洗浄便座（ウォシュレット等）であること。